

## 戦略計画 14

### みどりに恵まれた環境を未来へつなぐ

#### ● 5年後（平成35年度末）の目標

練馬のみどりに満足している区民の割合80%を目指し、みどりのネットワーク形成と区民とともにみどりを守り育てる仕組みづくりを推進

#### ● 現状・課題

区の魅力は、みどりの豊かさと大都市の利便性が両立している点です。公園や街路樹の整備、樹林地の保全などの取組を進めてきた結果、公共のみどりは増えました。一方、区のみどりの約75%を占める私有地のみどりは、税負担や相続などにより減少傾向にあります。

公共のみどりについては、引き続き、みどりのネットワークの拠点となる公園や軸となるみどり豊かな幹線道路の整備等を積極的に進めていく必要があります。

私有地のみどりについては、これまで以上に地域全体で地域のみどりを支えていく流れをつくるのが求められています。区民が心地よく、生活に必要なと感じるみどりを増やし、みどりに関わりやすい仕組みづくりを進めることで、区民と区がともにみどりを支え、より豊かなみどりを生み出す、区民協働の流れ「みどりのムーブメント」につなげていく必要があります。

#### ● 5か年（平成31～35年度）の取組

##### 1 みどりを守り・増やす

(1) みどりのネットワークの拠点となる魅力あふれる公園の整備

- ① 区内には、石神井公園、大泉中央公園、光が丘公園、城北中央公園などの大規模公園のほか、みどりの拠点となる公園や樹林地が点在しています。みどりの拠点づくりを進める長期プロジェクトとして、稲荷山公園は「武蔵野の面影」、大泉井頭公園は「水辺空間の創出」をテーマに、公園の拡張整備に着手します。これらの拠点をみどり豊かな幹線道路や河川がつなぐ、みどりのネットワーク形成を進めます。
- ② 練馬城址公園は、整備計画に区の求める水とみどりやにぎわい、防災の拠点としての機能が反映されるように、引き続き整備主体である東京都と調整します。
- ③ 四季の香ローズガーデン、大泉学園町希望が丘公園や石神井松の風文化公園の拡張など、スポーツができる公園や地域のみどりを活かした特色ある公園を整備す

るとともに、毎日の暮らしに潤いをもたらす身近な公園を積極的に整備します。

(2) みどりのネットワークの軸となる幹線道路の整備、河川改修

街路樹や沿道の樹林地等を活かしたみどり豊かな幹線道路の整備、新たなみどりを創出する河川改修により、みどりの軸を形成します。

(3) 重要な樹林地の保全

屋敷林等の樹林地は、練馬の原風景といえる景観であり、豊かな自然が守られた重要なみどりです。特に希少な樹林地は、所有者との合意形成を図り、都市計画緑地として確保を進めます。

(4) 地域ぐるみでの緑化の推進

沿道や街区単位での緑化を進めるため、専門スタッフによる相談体制を充実し、みどりの協定制度や花壇づくりの支援制度を活用して、みどりの街並みを広げます。

## 2 みどりのムーブメントの輪を広げる

(1) みどりとともに暮らす

区民協働の機運を醸成するため、練馬区みどりを育む基金をリニューアルします。樹林地の保全や特色ある公園の整備など、応援したいメニューを選択できるようにすることで、みどりへの関心や愛着を持つきっかけをつくります。また、寄付された方には、植樹活動に参加をしてもらうなど、みどりと積極的に関わることができる仕組みをつくります。

(2) みどりでつながる

● 区民による、公園や憩いの森の利活用や管理運営の推進

区民による、公園の管理運営を進め、地域の庭としての公園への愛着を育むとともに、地域のニーズに即した利活用を促進します。また、憩いの森を活用した自然観察会や森の育成体験などの事業を通じて、参加者による自主管理、利活用を進めます。

● 個人のみどりを地域で守る仕組みの拡充

地域に開放された個人の庭の手入れや落ち葉清掃など、個人のみどりを地域で守り育てる取組を推進します。また、みどりに関わる活動に参加したいと思う区民に、みどりについて学べる機会を提供し、活動団体等とのマッチングを進めるとともに、区民や団体間の交流を促し、活動を広げていきます。

● みどりに関わる機会や場の充実

道路植栽帯の清掃管理や街路樹の樹種の選定、駅前広場等での花壇づくりなど、様々な場面で区民がみどりを守り育てる機会や場を創出し、区民協働のすそ野を広げていきます。